

◆日本共産党創立104周年。歴史の岐路に希望の明日を切り開きます。

休日当番病院・医院

9月27日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター
旭町 32-0099
 - ◆外科 みらい整形外科クリニック
北栄町 53-7100
 - ◆歯科 土上歯科医院
王子町 34-3883
- 診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。変更への対応ができませんので、ご利用の際は電話でお確かめ下さい。

法律相談

10月26日(月)
橋本 祐樹 弁護士
(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

日本共産党

民主 苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

〒053-0855 苦小牧市見山町2丁目2-6 電話 56-5002 Fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp/>
苦小牧地区委員会のホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

訓練移転容認は撤回すべき

市議会 総合開発特別委

小野寺議員

米軍再編問題を追及



認識をたできました。

航空政策課長は、「沖縄の負担軽減については、本来嘉手納基地で行われるはずの訓練が移転されていることで、一定の効果がある」と従来の答弁を繰り返すだけです。小野寺委員は、「訓練移転で空いたところに外来機が来るから、実際、負担が増えているのではないかと指摘しました。

9月定例苦小牧市議会の総合開発特別委員会10日、日本共産党の小野寺幸恵議員は、米軍戦闘機訓練移転にかかわる質疑で、「沖縄の負担軽減は建前だけだ」と指摘し、訓練移転容認の撤回を求めました。

沖縄では、早朝深夜の戦闘機の飛行や、騒音の環境基準値超過回数、外来機の飛来などが増加し、市街地周辺では避けることになっているパラシュート訓練が常態化しています。小野寺委員は、これらのことを踏まえ、「米軍は沖縄の負担軽減など全く考えていないのではないかと指摘し、訓練移転を容認する市の

と答弁しました。

小野寺委員は、「SACOの合意は、辺野古のほかに、長い滑走路を提供することも合意されている。長い滑走路

沖縄の負担軽減は建前 破綻している

沖縄の負担軽減を目的に4000人の海兵隊のグアム移転を日米が合意し、政府は移転費用の98%である3700億円をアメリカに支払っていますが、アメリカは移転を進めておらず、政府は黙認しています。

小野寺委員は、琉球新聞の記事、「海兵隊移転による基地負担軽減が遅滞しないよう米側に強く求めるべきだ。海兵隊の構想に異を唱えず、黙

は、那覇空港のことであり、有事の際に那覇空港を使うことを認めることは許されない」と追及しました。

金澤市長は、「国の発信が嘘だったかどうか検証しなければならぬ」とのべつつ、「今後も沖縄の負担軽減の視点から、苦小牧も協力姿勢を崩さずに見守りたい」と答えました。

核兵器禁止条約の批准を
大軍拡反対!
外交で平和を
日本共産党

していました。小野寺委員は「沖縄県民や国民の怒りを呼ばないよう隠していた。沖縄の負担軽減どころか、沖縄をアメリカに差し出す行為だ」と政府を強く批判し、市の認識を求めました。

総合政策部長は、「防衛白書では、普天間基地の恒常化は絶対避けなければならぬ」と、強い意志が示されている。この国の姿勢を信じて対応したい」と答弁。

小野寺委員は、「信じるだけではなく、政府に言うべきだ。沖縄の負担軽減のために、訓練移転に協力するのはなく、SACO合意の撤回を求めます。政府に撤回を求めるべきです」と追及。

フリーマーケット開催

10月11日 見山2丁目公園

日本共産党苦小牧地区委員会と同後援会は、来月11日に共産党事務所の裏手にある「見山2丁目公園」で青空フリーマーケットを開催します。各後援会や個人参加による物品、野菜販売などが行われ、無料コーナーの「もってけ市」も設けます。キッチンカーも登場します。

楽しめる企画も考えていますので、みなさんのお越しを、呼びかけています。

- 10月11日(日) 午前10時
- 見山2丁目公園内
- 問合せ 電話56-5002

ラピダスのため自然壊していいのか

富岡市議

美々川の土地利用方針撤回で追及



決定することが大事であったと答弁しました。

金澤俊市長は、「反対の声が多数あったのは事実。それだけで撤回したわけではない」と言いつつ、「自然団体の声を踏まえ、最終的に方針の撤回をした」と意味不明の答弁を繰り返すだけでした。

苦小牧市は、2017年までに美々川流域を北海道自然環境保全地域に指定するよう要望していた経過があります。金澤市長は議員時代にラピダスの進出にあわせ、市街化調整区域を活用することを提案しています。富岡議員はこの問題をとりあげ、「市長の思いを優先させるあまり、専門

家の意見も聞かず突っ走ったのではないかと。都市計画審議会の決定が覆されたことがこれまでもあったのか、重大な問題だと認識しているのか」と追及しました。

担当課は、「これまで審議会で決定したことが覆されたことはない」と答弁。金澤市長は「審議会の決定を変えたこと自体、法的拘束力はないが、撤回したことは重く受け止めている」と答えるだけで、自ら反省する姿勢は見られませんでした。

富岡議員は、「自然に手をつけないことが大事なのに、金澤市長が自然団体や専門家の意見も聞かず審議会に諮ったことが大きな判断ミスであり、今回の反省がなければまた間違った方針を出す可能性がある」と語気を強めのべました。

子どもの未来に平和残そう

苦小牧で憲法守れ行動 小野寺市議ら 平和のうねり大きく



安保法制(戦争法)の強行採決から19日で11年。改憲や戦争国家づくりへの暴走を加速させる高市政権に反対の意志を示そうと「19日行動」が国会正門前で行われた19日、苦小牧でも呼応して「憲法守ろうスタンディング宣伝」が行われました。日本共産党苦小牧地区委員会(小野寺幸恵委員長)と同後援会などが主

催。参加者らは、「憲法守り暮らしに希望を!」の横断幕や「NO WAR」「改憲反対」などと書いたプラカードを掲げ、「戦争したがる首相はいらない」「軍事で港を利用するな」とコールしました。日本共産党の原啓司苦小牧市議が司会をし、リリーススピーチ。「高市首相は憲法9条に手をつけ、安保3文書を変え、核の持ち込みを可能としようとしている。声をあげて反対し、大きな平和のうねりをつくらう」「沖縄の軍事利用反対。米軍が自由に沖縄を使うなんて許せません。沖縄に平和を」「戦後アメリカが一番戦争している。戦争犯罪を取り締まるICCに、アメリカは制裁を加え解体しようとしているのに、日本はアメリカを批判することなく弱腰だ。世界平和のために日本はアメリカを説得すべきだ」。

小野寺委員長もマイクを持ち、「沖縄知事選は残念でした。国民の願いは基地のない平和な沖縄であり、普天間返還の嘘が報じられ、米軍戦闘機の訓練移転は負担軽減になっ

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 3497円
日曜版 990円

国会かけある記 いわぶち友



原発ゼロの決断こそ

総選挙のあと、共産党の国会議員団で「日本共産党国会議員団チャネル」というYouTubeチャンネルを立ち上げました。このチャンネルで米産ジャガイモの輸入解禁をめぐる問題について話しました。ぜひご覧ください。

コメント欄には「日本の農家を守るためにも、何としても阻止しなければと思う」「食の安全も自給率も、自民政治や米国の圧力で日本の未来はどうなるのか、とても心配」といった反響とともに、「共産党がんばれ」というエールが寄せられています。問題が知られば知られるほど、怒りが

中部電力は再稼働申請を取り下げましたが、驚くのは、信頼回復や企業体質の改善を進めて、「決してあきらめることなく再申請に向けた取り組みを進める」とのべたことです。反省を口にしながら、原発にしがみつき続ける。中部電力に原発を扱う資格などありません。

おおもとに国の原発推進政策があります。原発ゼロを決断し、省エネ、地域と共生する再エネの導入を。政策を抜本的に変えるときです。

岩淵友(いわぶち・とも) 日本共産党参議院議員



【大体8分で解説】米産ジャガイモ輸入解禁問題
日本共産党国会議員団開設のyoutube

発行を再開しました。今後ともよろしくお願い致します。